

わっくわくまつり、盛況のうちに終了

金毘羅祭りがにぎやかな10月10・11日、ワークショップようてい前でみんなで作った商品を販売する第1回「わっくわくまつり」を楽しみました。



2日間とも強風に悩まされ、商品が飛んでしまうハプニングもありましたが、農業部の農作物、製造部の手工芸品、そして調理部のフリーマーケットそれぞれ順調に売れ、なんと売り上げは合計2万1千円になりました！！

看板やポスターは自分たちで手作りし、お客さんへの声かけに多少の戸惑いもありましたが、みんな最後まで頑張りました。

精神科医 土田正一郎の

診察室で
考えて
いること(仮)



去年100kmのウルトラマラソンに参加して、何とか制限時間内に100kmを移動することができた。今年もうっかりして、同じ大会に参加の申込みをしてしまった。倍率が4倍以上だったので、きっと当たらないだろうと思っていたら、やっぱり当たった。

意外だったのは、当たったことを知った時、「よし！走ってやろうじゃないか」と思って、戦う気持ちになった自分がいたことである。まず健康な状態で午前5時半のスタートラインに立とう。完走はおまけのご褒美である。(ともに理事)

その6
100km

お知らせ：「読ん得」は、お休みさせていただきました。

各事業報告～10月末現在

- ◆障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい
契約/移行2名、継続B23名(+1名) 見学/2名 体験/1名
- ◆グループホームよこび 契約/16名(定員23名) 体験/1名
- ◆法人会員 正会員/20名、賛助会員/団体2 個人64(新規2)名
- ◆寄付物品 食材(玄米、野菜、コーヒー飲料ほか)、お菓子、衣類、着物地
牛乳パック(洗い済みで切り開いていないもの)

ともにを応援してください(賛助会員募集)

会費の納入は郵便振替を利用してくださいと便利です。

郵便振替番号 02790-3-84789

口座名義 「特定非営利活動法人ともに」

※会員さまの住所、氏名、電話番号を明記してください。

編集後記

建前は小さい頃近所がよくあり、餅拾いが楽しみでした。近年建前をしないところも多いらしいので、こういう地域とのコミュニケーションは守ってきたいものです。(かわさき)

次回は…12月16日【火】の予定です

通信 ともに

第18号



2014年11月19日発行

発行者/NPO法人ともに
住所 〒044-0053 虻田郡倶知安町北3条西2丁目
(ワークショップようてい内)
でんわ/FAX (0136) 23-2872
Eメール npotomoni@coda.ocn.ne.jp
公式ホームページ http://npotomoni.web.fc2.com
公式ブログ http://blog.canpan.info/npotomoni/

今月の一枚



10月26日 倶知安駅にて撮影

ありがとうS「ニセ」号

ともにが「認定NPO法人」に認定されました！！

10月24日、北海道庁環境生活部くらし安全局道民生活課協働推進グループから、認定NPO法人に認定されたとの連絡をいただきました。札幌市を除く北海道内で10番目の認定です。

認定NPO法人とは、NPO法人の中でも「高い公益性のある法人」として認められた法人のことで、平成23年までは国税庁が認定していました。現在は都道府県知事(政令指定都市は市長)が認定し、寄付する個人・企業や寄付を受ける認定NPO法人にも税制の優遇措置が受けられる制度です。詳しくは来月の通信と一緒に「祝！認定NPO法人取得しました！」のチラシをお届けします。ご期待下さい。

しょうおうかい

松翁会さまより助成金支給決定！～融雪地下水工事

10月22日、一般財団法人松翁会さまから「わっくわく事業」での融雪地下水工事に60万円の助成決定の連絡をいただきました。

わっくわく新築場所が除雪請負の雪捨て場だったので困っていましたが、松翁会さまの助成金で除雪請負が続けられます。ありがとうございました。

松翁会さまは明治安田生命などの安田グループを築いた安田善次郎氏(雅号・松翁)の追悼事業として大正11年に設立され、千代田区大手町で診療所経営と「社会福祉事業に対する助成事業」に取り組まれています。(東京大学安田講堂や日比谷公会堂は安田善次郎氏の遺志を継いで寄贈されたものとか。)



管を地下水層まで打ち込むところ

わくわく事業
ともに創る地域の和

特集 上棟祭(建前)で餅まきしました！ 工事も順調！

11月13日木曜日午後3時30分、雪がちらつく中、上棟祭(建前)をおこないました。

式は町内会、建築関係者、役場、当法人理事長・職員など27名が参列し、建物の神さまや匠の神さまをお迎えし工事の無事を願いました。つづいて午後4時からの餅まきでは「風神・雷神もお祝いして」とおっしゃる方もいるほどの吹雪の中盛大に餅をまき、集まった人も雪をかき分け拾っていました。

建物の形が見えてきた「わくわく」新事業所。季節は冬に入りますが、工事は熱をおびて活気づいています。



⇒工事と建物の無事を祈願した上棟祭



もちまきは当法人理事長、俱知安北郵便局長、田中様(法人監事)、町内会副会長森下様、棟梁田中様、三宅職員がまきました(写真上)。夕方のため近所の子どもさんもたくさん来て、大盛り上がりでした(写真下)。



10月21日

床面完成後、足場の組み立て



10月27日

柱と梁(はり)を組み立てる



10月29日

日が暮れても工事は続く(理事長撮影)



11月5日

壁をつくる



11月12日

窓を取り付ける



建前の前日12日、当法人の町内会「第一親和会」婦人部から5の方がきてくださり餅まき用の餅を職員と一緒に作りました。初めての共同作業ですが、あつあつの鏡餅を作る細田町内会長はじめ婦人部の若妻会(?)のみなさん、黒一点の森下副会長と職員のテキパキした連携で2時間足らずでなんと15キロの餅を丸めました！袋詰め作業は調理部利用者の出番。みんな頑張った！スゴイね。(コバヤシ)

わくわく事業
ともに創る地域の和

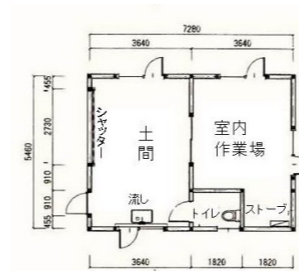
これからどうなる？ 工程表を大公開

月	工程内容
11月	サッシ取り付け、木サイディング貼り、エレベーター設置、自動ドア取付
12月	ユニットバス取付、外壁サイディング貼り、内外部モルタル、年末足場解体
1月	キッチン・家具取付、壁・天井クロス貼り
2月	壁・天井クロス貼り、建具取付、厨房機器搬入、完了検査、竣工引渡し



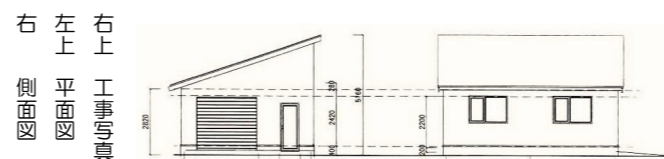
外観の色を変更し、木の部分はレッドシーダー、2階壁面はビターブラウンに決めました(左図)。従来予定していた明るいオレンジ色がカタログになかったので、落ち着いた色合いにしました。

障がい者就労支援事業所
ワークショップようてい 農業棟も別工事として建設中



わくわく新築工事とほぼ同時進行で、農業部が作業をする「農業棟」の建設が進んでいます。

来年度の農作業は農業棟ができることで作業の効率が上がり、いもの選別や豆の選り分けなど冬季の作業もはかどります。利用者さんの工賃向上に向けてこれからもがんばっていきます。(みやざき)



講演会・研修会活動 利用者さんが参加している研修活動

＜就労支援セミナー…10月に全3回 利用者参加3人＞

俱知安厚生病院とハローワーク俱知安が主催。「自分のやりたい仕事を見つけない(Aさん)」「オープンで働ける場所を探していきます(Oさん)」「ハローワークに行きやすくなったので、積極的にいきたい(Eさん)」と、それぞれ気持ちを新たにしていました。

＜第11回こころのルネッサンス…10月5日 利用者参加2人＞

主催はNPO法人MiMaTaでテーマは「生きやすさの手引き」。講師の向谷地生良さんらの話を興味深く聞いていました。

＜仕事のためのWRAP講座…11～12月に全5回 利用者参加3人＞

ともに主催で開催中。詳細は次回にお伝えします。



こころのルネッサンス